

News Letter

2020年
12月
中国四国農政局
徳島県拠点

徳島県の郷土料理 そば米雑炊！ご存知ですか？



そば米雑炊

「そば米雑炊」は、平成19年度に農林水産省「農山漁村の郷土料理百選」に選定され、同省ホームページ「見てみよう！日本各地の郷土料理」※において、徳島県の郷土料理として紹介されています。

その昔、源平の合戦に敗れた平家の落人たちは、徳島県の祖谷地方に逃げ延びたといわれています。そこは高い山に囲まれた土地で米が作れなかったため落人たちがそばを作り「雑炊」として食べたのが「そば米雑炊」のはじまりといわれています。

(※農林水産省ホームページ)

https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/kodomo_navi/cuisine/cuisine6_1.html

そば栽培からそば米料理に

つるぎ町猿飼集落の西岡田 治豈（にしおかだ はるき）さん、節子さんご夫妻は、「にし阿波の傾斜地農耕システム」でそば栽培を行っています。お話を伺ったところ、「そばは8月末に種を蒔き、11月初旬に収穫・乾燥。刈り取ったそばの実を釜で茹で、乾かして殻を取った状態のそば米を作り、雑炊やお寿司を作るのに使っている。お亥（い）の子さん（児童たちが、「亥の子うた」を歌いながら集落の家々をまわるつるぎ町の伝統行事：今年中止）の際、訪れた児童たちに、そば米を使ったお寿司などを振る舞っており、喜んで食べてくれる。」と語ってくれました。

そば米に含まれるルチンは、毛細血管の強化や血圧降下などの生理作用があるといわれています。「そば米雑炊」の味わいを楽しみながら、健康増進に役立ててはいかがでしょうか。

(※そばアレルギーの方は注意してください。)



そば米寿司

にし阿波の傾斜地農耕システムが世界農業遺産に認定！



傾斜地にカヤ束を集めた「コエグロ」

徳島県の「にし阿波地域（三好市、美馬市、つるぎ町、東みよし町）」の中山間部は、水はけの良い傾斜地であり昼夜の寒暖差が大きい等そば栽培に適した条件を有しており、古くから良質なそばが生産されることで知られています。

同地域では、段々畑のような水平面を形成せずに傾斜地のまま農耕した畑に採草地で採取した敷き草（カヤ）をすき込むことにより、風雨などによる土壌流出を最小限に抑え、そば等の雑穀や伝統野菜に山菜、果樹などを組み合わせた農耕が長年にわたり続

けられてきました。

このような地形に対応した農耕が「にし阿波の傾斜地農耕システム」として評価され、平成30年3月に国連食糧農業機関から「世界農業遺産」に認定されました。

「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」第7回選定結果

内閣官房及び農林水産省は、農山漁村活性化の優良事例である「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」第7回選定として、「ビジネス」、「コミュニティ」及び「個人」の3部門で28地区及び4名を選定しました。

徳島県からは、阿波市の「GOTTSO阿波」がビジネス部門における部門賞に選定され、那賀町の「木沢林業研究会」がコミュニティ部門に選定されました。



画像提供：GOTTSO阿波（2020年度ポスター）

（こっつお） GOTTSO阿波（ビジネス部門 部門賞）

「GOTTSO阿波」は、阿波市の若手農業後継者を中心に組織されています。子どもたちにナスを好きになってもらい、消費量を増加させようと「GOTTSO美〜®ナス」の生産を始め、ブランド野菜として確立させました。

また、美〜ナスを使って幼稚園や小学校で食育を行っており、その効果が現れ、年数を経るにつれてナス好きの子どもが増加しています。

さらに、「GOTTSO美〜®ナス」をオリンピックの食材として提供することを目指してGLOBALG. A.Pやとくしま安2（あんあん）GAP農産物（優秀）を取得している会員もいます。

このような取組が評価され、「GOTTSO阿波」はビジネス部門の中でも優良な事例として部門賞を獲得しました。

木沢林業研究会（コミュニティ部門 選定）

「木沢林業研究会」は、那賀町の林業者で組織されています。同町において二ホンジカの食害が増え、防護対策が必要となる中、ミツマタだけが食害に全くあわず成長していることに注目しました。

そこでミツマタを調べたところ、1万円札の原料として、90%が輸入されていることを知り、ミツマタの生産に取り組みました。

現在は、1万円札の原料の半分以上が国内産ミツマタになることを目指して活動しています。また、紙幣以外でのミツマタの活用として新商品（藍染ミツマタなど）の開発を試みしており、その生産を行うことで老若男女を問わない幅広い雇用を実現し、地域の活性化と所得向上を目指しています。



画像提供：木沢林業研究会
（白皮剥ぎ作業）

～令和2年度農林水産関係第3次補正予算の概要～

農林水産省は、令和2年度農林水産関係第3次補正予算の概要を取りまとめました。

総額1兆519億円で、補正予算としては8年ぶりに1兆円を超える大型予算になりました。そのうち、「（総合的なTPP等関連政策大綱）に基づく施策の実施」に3,220億円、「ポストコロナに向けた地域・社会・雇用の好循環の実現」に3,533億円の予算編成となりました。

詳しくはこちら <https://www.maff.go.jp/j/budget/r2hosei3.html>

◎「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。

編集：中国四国農政局 徳島県拠点

〒770-0943 徳島市中昭和町2丁目32

TEL (088)622-6131(内線223) FAX(088)626-2091 <農政局HP> <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>